

病院の地震対策に関する耐震改修等状況調査（質問表）

Q 1. 病院の敷地内で患者が利用する建物（病棟部門、外来診療部門、手術検査部門に限る）の耐震性についてお尋ねします。（「耐震性がある」とは、新耐震基準（昭和57年）で建設された建物及び昭和56年以前の建物であって耐震補強工事済みの建物（ I_s 値0.6以上）のこと。）該当するものに○をご記入ください。

なお、調査対象となる建物は、平成24年9月1日時点において使用している建物です。

A すべての建物の耐震性がある

B 一部の建物の耐震性がない

※Bを選択した場合は、耐震性のない建物の用途を記載して下さい。

C すべての建物の耐震性がない

D 不明

Q 2. Q 1でB、Cと回答した病院は回答してください。当該耐震性のない建物のうち、 I_s 値が0.3未満の建物がありましたか。該当があれば○をご記入ください。

Q 3. Q 1でB、C、Dと回答した病院は回答してください。今後10年以内に、Q 1の未耐震建物の耐震補強工事又は建て替えが終了する予定がありますか。該当するものに○をご記入ください。

A すべて耐震化する予定である

B 一部耐震化する予定である

C 耐震化する予定はない

Q 4. Q 3でA、Bと回答した病院は回答してください。当該耐震化工事の終了年度はいつですか。予定でも構いませんのでお教えください。「平成24年度」から「平成34年度」までの各年度または「具体的時期は未定」の中からお答えください。

また、耐震化工時を実施するに当たり、「医療施設耐震化臨時特例基金」を活用した場合は、○を記載して下さい。

Q5 Q1でDと回答した病院は回答してください。今後1年以内に耐震診断を行う予定がありますか。耐震診断を実施する予定のない病院については理由を記載して下さい。

- A 耐震診断をする予定である
- B 耐震診断する予定はない

耐震診断をしない理由（複数回答可）

- a 耐震診断に係る経費の確保が困難
- b 耐震診断後の具体的計画がない
- c 当該建物を将来的に廃止、取り壊す予定
- d その他（具体的に）